

## 令和6年度 指定管理者年度評価シート

### 1 公の施設の基本情報

施設名称	若葉文化ホール	美浜文化ホール
条例上の設置目的	千葉市文化ホール設置管理条例（抄） 第1条 本市は、市民の文化の向上を図り、福祉の増進に寄与するため、次のとおり文化ホールを設置する。	
ビジョン （施設の目的・目指すべき方向性）	当該施設が地域住民に身近な存在として、幅広い文化芸術に触れる場となるとともに、新しい価値観の創造や、文化の担い手を育みその活動を支援すること	
ミッション （施設の社会的使命や役割）	【地域文化の創造拠点】 ・市民が気軽に参加できるイベントの提供 ・地域住民の文化創作活動の場 ・文化芸術活動を通じた地域住民の交流の場	
制度導入により見込まれる効果	各施設の地域性や特性を活かしながら、効率的で円滑な管理運営と有機的な連携による自主事業の展開などを期待する。 千葉市若葉文化ホールは千葉市若葉区千城台コミュニティセンターとの併設なので、施設全体を一体的に管理することにより、市民サービス及び管理コスト削減の費用対効果が望める。	
成果指標※	① 施設利用者数（楽屋除く） ② 使用件数（楽屋除く） ③ 施設稼働率（楽屋除く） ④ ホール稼働率	① 施設利用者数（楽屋除く） ② 使用件数（楽屋除く） ③ 施設稼働率（楽屋除く） ④ メインホール稼働率 ⑤ 音楽ホール稼働率
数値目標※	① 64,000人以上 （令和6年度：46,592人） ② 850件以上 （令和6年度：955件） ③ 41.3%以上 （令和6年度：46.1%） ④ 平日35.0%以上、土日祝81.0%以上 （令和6年度：42.0%・81.7%）	① 115,000人以上 （令和6年度：108,468人） ② 2,450件以上 （令和6年度：2,888件） ③ 53.1%以上 （令和6年度：64.0%） ④ 平日47.0%以上、土日祝92.0%以上 （令和6年度：62.0%・88.7%） ⑤ 平日68.0%以上、土日祝95.0%以上 （令和6年度：65.1%・95.4%）
所管課	市民局 生活文化スポーツ部 文化振興課	

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

### 2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	ちばアートウインド運営企業体
構成団体 （共同事業体の場合）	Fun Space株式会社(代表企業) 株式会社パシフィックアートセンター 株式会社千葉共立 株式会社ハンズオン・エンタテインメント 株式会社オーチャー
主たる事業所の所在地 （代表団体）	東京都新宿区西新宿3丁目2番26号
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年）
選定方法	公募
管理運営費の財源	指定管理料及び利用料金収入

### 3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

ア 若葉文化ホール

成果指標	数値目標※	令和6年度実績	達成率※
① 施設利用者数（楽屋除く）	提案時数値目標 64,000人 (63,000人)	46,592人	提案時数値目標に対する達成率 72.8% (74.0%)
	令和6年度数値目標 63,500人		令和6年度数値目標に対する達成率 73.4%
② 使用件数（楽屋除く）	提案時数値目標 850件 (840件)	955件	提案時数値目標に対する達成率 112.4% (113.7%)
	令和6年度数値目標 850件 以上		令和6年度数値目標に対する達成率 112.4%
③ 施設稼働率（楽屋除く）	提案時数値目標 41.3% 以上 (41.0%)	46.1%	提案時数値目標に対する達成率 111.6% (112.4%)
	令和6年度数値目標 41.9% 以上		令和6年度数値目標に対する達成率 110.0%
④ ホール稼働率	提案時数値目標 平日 35.0% 以上 (35.0%) 土日祝 81.0% 以上 (81.0%)	平日 42.0% 土日祝 81.7%	提案時数値目標に対する達成率 平日 120.0% (120.0%) 土日祝 100.9% (100.9%)
	令和6年度数値目標 平日 35.4% 以上 土日祝 82.5% 以上		令和6年度数値目標に対する達成率 平日 118.6% 土日祝 99.0%

イ 美浜文化ホール

成果指標	数値目標※	令和6年度実績	達成率※
① 施設利用者数（楽屋除く）	提案時数値目標 115,000人 (114,000人)	108,468人	提案時数値目標に対する達成率 94.3% (95.1%)
	令和6年度数値目標 114,800人		令和6年度数値目標に対する達成率 94.5%
② 使用件数（楽屋除く）	提案時数値目標 2,450件 (2,400件)	2,888件	提案時数値目標に対する達成率 117.9% (120.3%)
	令和6年度数値目標 2,410件		令和6年度数値目標に対する達成率 119.8%
③ 施設稼働率（楽屋除く）	提案時数値目標 53.1% 以上 (53.0%)	64.0%	提案時数値目標に対する達成率 120.5% (120.8%)
	令和6年度数値目標 53.6% 以上		令和6年度数値目標に対する達成率 119.4%
④ メインホール稼働率	提案時数値目標 平日 47.0% 以上 (47.0%) 土日祝 92.0% 以上 (92.0%)	平日 62.0% 土日祝 88.7%	提案時数値目標に対する達成率 平日 131.9% (131.9%) 土日祝 96.4% (96.4%)
	令和6年度数値目標 平日 47.3% 以上 土日祝 92.8% 以上		令和6年度数値目標に対する達成率 平日 131.1% (131.1%) 土日祝 95.6% (95.6%)
⑤ 音楽ホール稼働率	提案時数値目標 平日 68.0% 以上 (68.0%) 土日祝 95.0% 以上 (95.0%)	平日 65.1% 土日祝 95.4%	提案時数値目標に対する達成率 平日 95.7% (95.7%) 土日祝 100.4% (100.4%)
	令和6年度数値目標 平日 68.5% 以上 土日祝 95.5% 以上		令和6年度数値目標に対する達成率 平日 95.0% (95.0%) 土日祝 99.9% (99.9%)

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

(2) その他利用状況を示す指標

指 標	令和6年度実績
顧客満足度80点以上（若葉）	85.3%
顧客満足度80点以上（美浜）	86.5%

#### 4 収支状況

##### (1) 必須業務収支状況

###### ア 収入

(単位：千円)

費 目		令和6年度	【参考】 令和5年度	計画実績差異・要因分析		
				差異		主な要因
指定管理料	実績	142,235	135,781	実績－計画	5,694	光熱水費高騰に伴う指定管理料（概算払い）追加変更
	計画	136,541	136,380	計画－提案	24,000	提案には当初光熱水費概算払い分24,000千円含まない。
	提案	112,541	109,524			
利用料金収入	実績	73,532	67,782	実績－計画	6,439	使用件数増に伴う利用料金収入の増
	計画	67,093	66,560	計画－提案	0	
	提案	67,093	66,560			
その他収入	実績	6,078	5,835	実績－計画	2,253	複合施設（美浜社会福祉協議会等）の光熱水費立替精算分は計画には含まない。
	計画	3,825	5,275	計画－提案	415	事業収入見込み変更
	提案	3,410	3,310			
合計	実績	221,845	209,398	実績－計画	14,386	
	計画	207,459	208,215	計画－提案	24,415	
	提案	183,044	179,394			

###### イ 支出

(単位：千円)

費 目		令和6年度	【参考】 令和5年度	計画実績差異・要因分析		
				差異		主な要因
人件費	実績	139,703	139,703	実績－計画	0	
	計画	139,703	139,703	計画－提案	0	
	提案	139,703	139,703			
事務費	実績	40,118	36,410	実績－計画	4,180	光熱水費高騰のため
	計画	35,938	38,794	計画－提案	24,000	提案には当初光熱水費概算払い分24,000千円含まない。
	提案	11,938	11,938			
管理費	実績	10,244	10,179	実績－計画	△ 4,249	両施設共に個別修繕すべき事項が計画より少なかった為。
	計画	14,493	13,943	計画－提案	0	
	提案	14,493	13,943			
委託費	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
その他事業費	実績	13,209	11,067	実績－計画	384	当初予定していた事業規模に変更があり、製作費が想定を上回ったため
	計画	12,825	11,275	計画－提案	415	大型事業『千葉魂』指導費増
	提案	12,410	9,310			
本社費・共通費	実績	4,500	4,500	実績－計画	0	
	計画	4,500	4,500	計画－提案	0	
	提案	4,500	4,500			
合計	実績	207,774	201,859	実績－計画	315	
	計画	207,459	208,215	計画－提案	24,415	
	提案	183,044	179,394			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

##### 本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

- ・「事務管理費」として「事務費」に計上（提案書P96）。
- ・経費の内訳及び積算根拠

⇒代表企業本社にて行う業務（財務・労務・法務等の事務管理業務を一括して行う）の経費である。

具体的には、①事業計画の進捗管理補助、②役所報告書作成補助、③運営補助、④お客様対応サポート にあたる。

## (2) 自主事業収支状況

## ア 収入

(単位：千円)

費 目		令和6年度	【参考】 令和5年度
自主事業収入	実績	5,887	4,330
その他収入	実績	0	0
合計	実績	5,887	4,330

## イ 支出

(単位：千円)

費 目		令和6年度	【参考】 令和5年度
人件費	実績	708	679
事務費	実績	0	0
管理費	実績	0	0
委託費	実績	0	0
使用料	実績	0	0
事業費	実績	4,320	3,153
利用料金	実績	170	209
その他事業費	実績	0	0
本社費・共通費	実績	0	0
合計	実績	5,198	4,041

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

--

## (3) 収支状況

(単位：千円)

		令和6年度	【参考】令和5年度
必須業務	収入合計	221,845	209,398
	支出合計	207,774	201,859
	収 支	14,071	7,539
自主事業	収入合計	5,887	4,330
	支出合計	5,198	4,041
	収 支	689	289
総収入		227,732	213,728
総支出		212,972	205,900
収 支		14,760	7,828
利益の還元額		0	0
利益還元の内容			

## 5 管理運営状況の評価

## (1) 管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

## ア 若葉文化ホール

評価項目	市の評価	特記事項
施設利用者数（楽屋除く）	D	コロナ以降、大人数の利用が回復していないため
使用件数（楽屋除く）	B	
施設稼働率（楽屋除く）	B	
ホール稼働率	C	平日と土日祝の達成率を平均：110.5% 指定管理者が設定した令和6年度の数値目標に達していないため、C評価とする。

## イ 美浜文化ホール

評価項目	市の評価	特記事項
施設利用者数（楽屋除く）	C	
使用件数（楽屋除く）	A	
施設稼働率（楽屋除く）	A	
メインホール稼働率	C	平日と土日祝の達成率を平均：114.2% 指定管理者が設定した令和6年度の数値目標に達していないため、C評価とする。
音楽ホール稼働率	C	平日と土日祝の達成率を平均：98.1%

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。  
A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）  
B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）  
C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満  
D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満  
E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

## (2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	提案時と同額（光熱水費概算払い分を除いた額と比較）

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

A：選定時の提案額から10%以上の削減

B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減

C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減

(D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)

－：対象外（市の指定管理料支出がない。）

## (3) 管理運営の履行状況

評価項目	自己評価	市の評価	特記事項
<b>1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理</b>			
市民の平等利用の確保	C	C	
関係法令等の遵守			
リスク管理・緊急時対応			
<b>2 施設管理能力</b>			
<b>(1) 人的組織体制の充実</b>	C	C	
管理運営の執行体制			
必要な専門職員の配置			
従業員の能力向上			
<b>(2) 施設の維持管理業務</b>	C	C	
施設の保守管理			
設備・備品の管理・清掃・警備等			
<b>3 施設の効用の発揮</b>			
<b>(1) 幅広い施設利用の確保</b>	B	B	美浜文化ホールでは、第1スタジオ割引適用期間の見直し（通年化）をし、企画提案業務事業と連動したスタジオ利用の案内をすることで、バンド等の市民活動の練習場としての認知及び利用の促進を図った。 また、ちばアートウィンド運営企業体としてのLINE公式アカウントを開設し、各館の公演情報の周知等、利用者への継続的な周知を実施していることから、利用促進の方策が優れていると判断した。
開館時間・休館日			
利用料金設定・減免			
利用促進の方策			
<b>(2) 利用者サービスの充実</b>	B	B	美浜文化ホールでは、指定管理者の負担により、老朽化したスタジオ内の備品の音響卓、パワーアンプ、ギターアンプを自主的に刷新し、利用者の満足度向上に努めた。
利用者への支援			
利用者意見聴取・自己モニタリング			

(3) 施設における事業の実施	施設の事業の効果的な実施	B	C	両ホールともに各種事業に関して高い入場率を記録し、特別支援学級を対象とした「バラスデ」や市民参加型の舞台芸術である「千葉魂」を実施したが、各事業ともに管理運営の基準に基づき提案された事業内容であると判断し、C評価とした。
	自主事業の効果的な実施			
4 その他				
市内業者の育成		B	C	契約社員2名を正社員に登用するなど高い評価をできる事項があるものの、僱事で必要な弁当等を市内の店舗と契約したこと及び障害者就労支援施設より商品を仕入れたことについては、昨年度に引き続き管理運営の基準に基づき提案された事業内容であると判断し、C評価とした。
市内雇用への配慮				
障害者雇用の確保				
施設職員の雇用の安定化への配慮				

【評価の内容】	
A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。	
B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。	
C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。	
D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。	
E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。	

(4) 市民局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
①未利用者アンケートの取組みは非常に評価できるが、性別等、回答者に偏りが無いよう、アンケートの実施方法について引き続き検討されたい。	令和5年度	未利用者アンケートを勤労市民プラザの『こどものまち』で実施したことから、回答者の性別では母親を始めとした女性が多くなった。近隣施設イベントでのアンケートにより、美浜文化ホールを知らない方の地域割合や今まで利用しなかった理由を把握でき、美浜文化ホール主催事業のチラシ配布地域を総武線「幕張本郷駅～稲毛駅」区間の以南まで拡大した（なお新検見川駅においては、ホール最寄り駅の一つともなっていることから、従来より駅以北にも配布している）ことにより多くの対象に向けてイベント告知ができるように、SNSを利用した告知も検討し、R6年度末より実施した。次回の未利用者アンケート実施方法についてもより幅広い年齢、性別で実施できるよう工夫を行いたい。
②利用者へのお礼等のはがきを送付することは非常に評価できるため、他文化施設へも波及し、広められたい。	令和5年度	利用者一人一人に向けた感謝の気持ちを、スタッフが手書きし、サンキューレターとして送付することを継続している。利用申請時から利用後まで、一貫して丁寧な対応を心掛けており、継続して利用いただける動機になるよう努めている。
③料金設定については利用者に丁寧な説明を努められたい。	令和5年度	利用者よりいただいた「プロに係る興行利用の場合の営利加算について」のご意見に対し、説明を行ったが、ご納得いただけなかった。今後ともご納得いただけるよう丁寧な説明を心がける。

## 6 ユーザーニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	施設利用におけるアンケート調査／催事における顧客満足度調査
	回答者数	(施設利用におけるアンケート調査) 若葉文化ホール164名、美浜文化ホール449名 (顧客満足度調査)若葉文化ホール 計274名、美浜文化ホール計363名
	質問項目	(施設利用におけるアンケート調査) 【両館共通】 ①当館を選ばれた理由②ご利用回数③初回利用時何で知った④利用会場⑤利用時間区分⑥入場料⑦利用目的(若葉)ホール(美浜)ホール・4階施設⑧清潔感⑨使いやすさ⑩受付スタッフの服装・対応・説明⑪技術スタッフのマナー・言葉遣い・身だしなみ⑫技術スタッフ担当者の説明⑬お客様の要望⑭技術サービス(舞台進行・照明・音響・タイミング等)⑮本番までの予約方法、事前打ち合わせ⑯本日の満足度 (顧客満足度調査) 【若葉】①年齢②性別③お住まいの場所④今まで若葉文化ホールで鑑賞したことがあるか⑤公演を何で知った⑥公演の内容⑦料金設定⑧ホールのスタッフ対応⑨公式HPのわかりやすさ⑩館内施設案内表示⑪照明(見やすさ)⑫音響(音楽の聴きやすさ)⑬施設全体の清潔感⑭(第1回目)お連れのお子様は公演を楽しんでおられましたか⑮(第1回目)子供向け鑑賞公演・イベントの企画⑯(第2回目)ホール主催のクラシック公演に関する取り組み 【美浜】(1回目・2回目)①年齢②性別③お住まいの場所④今まで美浜文化ホールで鑑賞したことがあるか⑤公演を何で知った⑥公演の内容⑦美浜文化ホール主催の公演の企画・取り組み⑧料金設定⑨ホールのスタッフ対応⑩公式HPのわかりやすさ⑪施設全体の清潔感⑫照明(見やすさ)⑬音響(音楽の聞きやすさ) (3回目)①利用回数②利用目的③受付スタッフの申込みまでの説明・対応④受付スタッフの利用当日の対応⑤舞台技術スタッフの専門性と知識⑥舞台技術スタッフの公演(打合せ・利用中)の対応・サポート⑦インターネットWi-Fi(無料)の使い勝手⑧フルコンサートピアノ(ヤマハCFⅢS)の弾き心地、響き⑨施設全体の清潔感⑩公式HPの情報の充実度⑪公式HPの必要情報の見つけやすさ⑫総合評価
結果	(施設利用におけるアンケート調査) 結果は、「若美：R6年度年次報告書」参照	
	(顧客満足度調査) ●主旨 ・観客としてホールを利用する顧客及び主催者としてホールを利用する顧客に対し、顧客満足度調査を実施。 ・様々なホールのニーズをセグメント毎に満足・不満足を明確に数値によって捉えることが可能。 ※総合的に70点以上が合格点＝満足となる。 【若葉】 (第1回目) ■実施期間：2024年10月20日(日) ■公演名：0さいからのエンタメ”えほんとおんがく”リトさんの「まねっこカメレオン」 ■調査票回収数：56部 ■調査結果点数：顧客満足度総平均点85.5点(100点満点) 公演の内容の満足度点数88.4点(100点満点) (第2回目) ■実施期間：2025年1月18日(土) ■公演名：ニューイヤークラシック ギター・デュオコンサート ■調査票回収数：218部 ■調査結果点数：顧客満足度総平均点85.0点(100点満点) 公演の内容の満足度点数90.4点(100点満点) 【美浜】 (第1回目) ■実施期間：2024年8月18日(日) ■公演名：「千葉の魅力と元気、感動を発信する市民劇 千葉魂Ⅶ 人生号」 ■調査票回収数：151部 ■調査結果点数：顧客満足度総平均点88.8点(100点満点) 公演の内容の満足度点数93.0点(100点満点) (第2回目) ■実施期間：2024年11月24日(日) ■公演名：没後100年イタリアのオペラの巨匠「“プッチーニの響き”レクチャー&コンサート」 ■調査票回収数：103部 ■調査結果点数：顧客満足度総平均点84.6点(100点満点) イベントの内容の満足度点数91.0点(100点満点) (第3回目) ■実施期間：2024年10月～2025年3月 ■調査名：メインホール利用者(イベント主催者)対象顧客満足度調査 ■調査票回収数：109部 ■調査結果点数：顧客満足度総平均点86.1点(100点満点)	

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
若葉文化ホール 第2リハーサル室の壁にテープ等が使用禁止な点を改善して欲しい	壁の素材が防音材になっていることから、壁を傷つけないために禁止している旨を丁寧に説明し、ご理解いただいた。
美浜文化ホール 湿度が高く、夜間に楽器が限界を迎えてしまった（音楽ホールご利用者）。	空調には外気を取り入れているため、海岸に近い当館は、湿度を帯びた空気が入りこみホール内の湿度が高くなる。ホール利用がある際は、ご利用の1時間前から空調をつけ、ホール内の湿度が極力下がるように設備担当者で調整している。今後も季節や天候に応じ、温度設定を変えるなど可能な限り湿度が下がるよう調整を行っていく。
美浜文化ホール エレベーターの場所が分かりにくい。	催事がある際は、エレベーターの位置を表記した案内板を追加で設置し、入口から見つけやすくしていたが、ご意見をいただいた。年配のご利用者様も多いため、探されている様子の方にはスタッフから積極的にお声掛けをするよう受付スタッフに周知し、引き続き対応していく。

## 7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

総括評価	B	所見	<p>【若葉】</p> <p>ホール稼働率については、市の目標に対して平日+7.0ポイント、土日祝+0.7ポイントと上回る結果となった。施設全体においても、稼働率は市の目標に対して+5.1ポイント、利用件数は+115件と大きく上回った。達成できなかった利用人数については、コロナ以降大人数の利用が回復しないことによるものと見ている。</p> <p>事業については、これまで毎年継続している特別支援学級へのサポートプログラム「バラスデ」では、ビーチサッカー元日本代表選手を講師に迎え、サッカーボールを使用したワークショップを実施した。同時に舞台照明の操作体験も実施し、文化施設に触れる機会の創出を行った。この取り組みは継続し、来年度は、千葉市内の特別支援学級を対象とした芸術鑑賞会を開催する。</p> <p>【美浜】</p> <p>メインホール稼働率は市目標比で、平日+14.7ポイント、土日祝+4.1ポイントと、平日については舞台練習割引の利用と本番に伴う夜間帯の仕込み利用が増加し、目標を大きく上回る結果となった。また、第1スタジオについては、期間限定であった「第1スタジオ割引」を”通年”適用としたことや、企画提案事業「MIHAMA BAND FES」の参加者や観覧された方へスタジオ割引の積極的な案内を実施。事業と連動したスタジオ利用者の利用定着、増加が、稼働率76.0%と過去最高実績に繋がられた。</p> <p>事業については、市民劇「千葉魂Ⅶ 人生号」を開催。プロの演出家による長期間の稽古を積んだ市民参加者30名が、千葉市芸術文化新人賞受賞者や千葉市にゆかりのある6名のゲストと共に、創作劇を通して、千葉の海や歌等をテーマに千葉の魅力を最大限に伝えた。地域のホールとして、参加者へ、”発表・交流の場”や”発表を通して得られる感動・喜び”を提供するとともに、観覧された市民の方々から、大変好評の声をいただき、地域の活性化に繋げる役割を果たした。</p>
------	---	----	--

(2) 市による評価

総括評価	B	所見	<p>若葉・美浜両文化ホールについて、管理運営の基準に基づき、概ね計画通りに良好な管理運営が行われた。施設利用者数に関して、目標の数値を下回ってしまったものの、特に美浜文化ホールについては第1スタジオの通年割引を実施したこともあり、使用件数及び施設稼働率が前年度を大幅に超え、指定期間の中でも群を抜いて高い数値となった。収支においては、光熱水費の高騰に伴い、指定管理料等が計画の数値を上回ったものの、利用料金収入が過去最大の額となり、人件費及び物価高騰の影響がある中で前年度より支出が抑えられているため、安定的及び効率的な運営が評価できる。</p> <p>また、前年度の未利用者アンケートの結果を活かした周知対象地域の拡大、公式LINEの開設など利用者数の増加に努めるとともに、特別支援学級の生徒に向けたプログラムや一般市民が稽古を積んで劇を行う市民参加型の事業を実施するなど、地区ホールとしての効果的な事業展開が見受けられた。</p> <p>各項目から算定する全体評価としてはC評価となるが、顧客満足度調査の結果が好評であることや、両施設ともに施設利用件数及び施設稼働率が目標数値を大幅に上回ったこと、契約社員を正社員に2名登用したこと、利用者の意見を活かして的確に施設の機能向上を図っていること等、優れた管理運営を行っていることと総合的に判断し、B評価とした。</p> <p>今後も、顧客満足度調査を活かした事業展開等を継続し、地域住民に対して文化芸術に触れる機会を提供することで、地域への文化芸術の浸透と交流促進の活性化に努められたい。</p>
------	---	----	---



【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 市民局指定管理者選定評価委員会の意見

- (ア) 市の作成した年度評価案の妥当性について  
市の作成した年度評価案の内容は、妥当であると判断される。
- (イ) 管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、改善を要する点等について
  - a 全体的に概ね良好な施設運営が行われており、モニタリングで高評価であった項目については、他の施設へも周知された。
  - b 指定管理者の財務状況について、計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提とするが、収益性はやや問題があるものの、安全性は高いため、事業継続が直ちに困難になるとは考えにくく、倒産、撤退のリスクはないと判断される。